

## 老年看護学実習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 相馬 一二三 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	実習 150 時間
期 間	後期		
単 位 数	4 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

老年期にある対象および家族を総合的にとらえ看護を展開する。看護過程の展開では、アセスメント能力・問題解決能力を身につけ、個々に応じた看護を実践するとともにセルフケア能力の向上を図る看護を習得する。さらに、生活の場が移行し療養が必要になった高齢者を包括的に理解し、対象および家族に必要な看護を実践する能力を習得する。医療および福祉の連携の必要性を理解し、その中で看護師の役割およびチームアプローチの必要性を学び、自立の援助や患者の QOL の向上を図る知識・技術を身に付ける。

### ・教育成果（アウトカム）

高齢者の生活機能の観点からアセスメントすることで、目標志向型の看護過程の展開ができる。対象者とのふれあいをとおして、複数の疾患をもち折り合いをつけながら生活していることを理解することで、個々の生活に即した援助を実践できる。また、回復期病棟・施設での実習を行うことで、継続看護の必要性や高齢者のもてる力に視点をおいたチームアプローチ・社会資源のサービスをとおして、施設を利用する高齢者の理解を深め、その中で看護師の役割を認識することができる。学んだ知識・技術を対象者のケアをとおして指導を受けることによって、チームの一員としての対人関係や倫理観を養い、看護専門職としての自己のあり方を振り返る能力を身につけることができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー： 1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

### ・到達目標（SBO）

1. 高齢者を生活機能の観点からアセスメントし、根拠に基づく目標志向型の看護を展開できる。
2. 多様な場で展開される生活機能に視点をおいた持てる力を引き出す看護が実践できる。
3. 実施した看護の意味や課題を患者・家族の立場に立ち倫理的観点から振り返ることができる。
4. 老年期にある対象の生活史や価値観を理解し、尊重した態度を身につけることができる。
5. 施設の役割・機能を学びその中で看護師の役割を述べるができる。
6. チームの一員として、報告・連絡・相談の必要性を理解し、指導の下で実践できる。
7. 看護実践能力を自己評価し、必要な学修ができる。

・ 授業日程

【実習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
各グループの実習期間は、実習要項等に記載する。			地域包括ケア講座	相馬 一二三 准教授 吉岡 智大 助教	<p>病院実習（3週間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人の患者を受け持ち目標志向型の看護過程を展開する。</li> <li>個々の健康レベルに応じた看護を実践できる (詳細は、実習要項を参照)</li> </ul> <p>施設実習（1週間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの高齢者とふれあい、生活に視点をおいた援助とサービスの活用を実際に見ることで、高齢者の支援のあり方を深めることができる。 (詳細は、実習要項を参照)</li> </ul>

・ 教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	高齢者の健康と障害 第5版	堀内 ふき 他	メディカ出版	2019
教	高齢者看護の実践 第4版	堀内 ふき 他	メディカ出版	2019
参	生活機能からみた 老年看護過程 第3版	山田 律子 他	医学書院	2019

・ 成績評価方法

実習記録・実習態度など評価表に基づき点数化し病院実習 70%、施設実習 30%とし総合評価する

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

実習する病院・施設の役割・機能について事前学習をする。また、学内のオリエンテーション時に受け持ち患者を紹介された場合は、疾患・治療・看護について事前学習を行い、実習がスムーズに行えるようにする。最低でも1時間以上は行う。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

実習期間中は、実習記録の進捗状況や実習目標の到達度、また、学生が困っていることなど教員と面談しながら進める。そのなかで、知識・技術・態度に関するフィードバックを行いながら、自己の課題に取り組む。

また、日々のカンファレンスでは、患者との関りの中での疑問点・ケアについての悩みなどに関して問題解決していく。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表3）：臨地実習 専門分野Ⅱ 老年看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			